

第 40 期（2021 年 3 月期）

決 算 公 告

（ 2020 年 4 月 1 日から
2021 年 3 月 31 日まで ）

東京都港区高輪三丁目 19 番 15 号

スターゼン IT ソリューションズ株式会社

貸借対照表

2021年 3月 31日現在

スターゼンITソリューションズ株式会社

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	375,370	流動負債	722,205
現金預金	449	買掛金	14
売掛金	209,939	短期借入金	120,816
原材料及び貯蔵品	1,175	1年内返済予定の長期借入金	46,600
立替金	5	リース債務	101,516
未収入金	6,173	未払金	391,577
前払費用	157,627	未払費用	4,363
		未払法人税等	4,983
固定資産	1,016,875	未払消費税等	23,747
有形固定資産	255,844	預り金	1,073
建物	5,955	賞与引当金	27,514
工具器具備品	59,926		
リース資産	189,962	固定負債	486,515
無形固定資産	733,126	長期借入金	139,800
電話加入権	1,174	リース債務	89,182
ソフトウェア	721,950	長期未払金	251,872
ソフトウェア仮勘定	10,001	資産除去債務	5,660
		負債合計	1,208,721
投資その他の資産	27,904	(純資産の部)	
長期前払費用	732	株主資本	183,523
差入保証金	13,425	資本金	10,000
繰延税金資産	13,746		
		資本剰余金	73,115
		その他資本剰余金	73,115
		利益剰余金	100,407
		利益準備金	2,500
		その他利益剰余金	97,907
		繰越利益剰余金	97,907
		純資産合計	183,523
資産合計	1,392,245	負債及び純資産合計	1,392,245

個別注記表

Ⅰ．重要な会計方針に係る事項に関する注記

1．資産の評価基準および評価方法

(1) たな卸資産の評価基準及び評価方法

①商品及び製品

……個別法および総平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）

②仕掛品

……個別法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）

③原材料、仕掛品及び貯蔵品

……先入先出法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）

2．固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに2016年4月1日以降取得した建物附属設備及び構築物については定額法によっております。

(2) 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法

なお、自社利用ソフトウェアについては、自社における利用可能期間(5年)に基づいております。

(3) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

(4) 長期前払費用

定額法

3．引当金の計上基準

①賞与引当金

従業員賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当期の負担額を計上しております。

4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

II. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当該事業年度末発行済株式の種類に関する事項

普通株式 200 株

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

2020 年 6 月 19 日開催の第 39 回定時株主総会決議による配当に関する事項

普通株式の配当に関する事項

- ・ 配当金の総額 39 百万円
- ・ 1 株あたり配当額 199,000 円
- ・ 基準日 2020 年 3 月 31 日
- ・ 効力発生日 2020 年 6 月 22 日

(2) 基準日が等事業会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期になるもの

該当事項はありません。

III. その他の注記

該当事項はありません。

IV. 当期純損益金額

当期純利益 34,625 千円

~~~~~  
(注)この計算書類中の記載金額は、表示単位未満を切捨てて表示しております。